

リン含有PCB油前処理設備工事の進捗状況及び今後の見通しについて

1. リン含有 PCB 前処理設備の概要

東京 PCB 処理事業所（以下「当事業所」という）では、リン化合物含有 PCB 油を処理するため、所内に実証設備を設置し、実機設備内容の確定に向けて実証試験を進めた。実証試験結果及び実機設備の設計については、2019年2月26日開催の東京PCB事業部会です承いただき、2019年3月28日開催の東京PCB環境安全委員会で報告済みである。

今回は、設置工事の進捗状況について報告するものである。

2. 実機設備の概要

(1)処理方式 加水分解 + 静置分離

(2)処理対象物

リン含有 PCB 油 事業者保管数量： 286 トン
 リン濃度 : 1.0 ~ 2.4% (保管タンク底からの高さによる)
 密度 : 1.06 ~ 1.16 g/mL (15°C)

(3)処理能力

項目	処理能力	備考
リン含有 PCB 油受入量	1,700 L/バッチ	週3~4回受入予定
受入油量	568~1,095 kg/バッチ	処理油のリン濃度等により変化する
廃アルカリ液量	1,203~1,453 kg/バッチ	処理油のリン濃度等により変化する

(4)処理条件

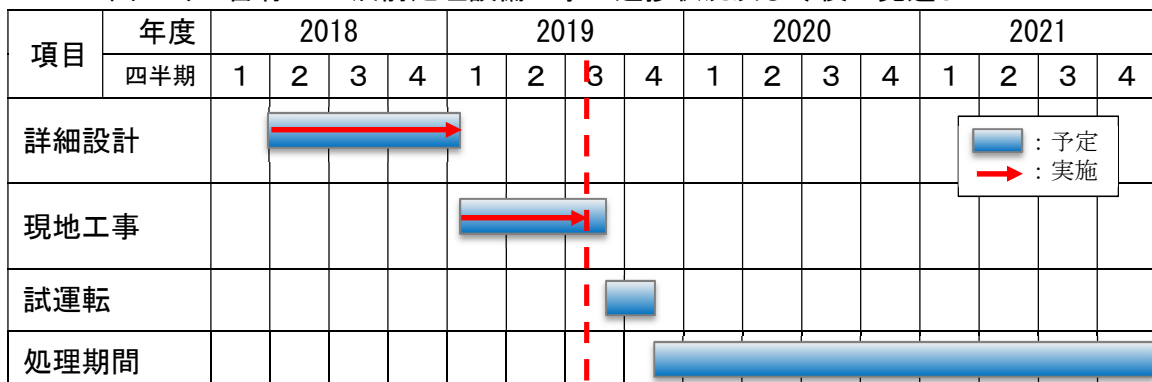
項目	処理能力	備考
油中リン濃度	130 mg/kg 以下	後処理の運転状況に応じて調整
廃アルカリ液の PCB 濃度	5,000 mg/kg 以下	

3. 進捗状況及び今後の見通し(2019年10月末現在)

(1)現地工事

官庁手続きの遅れのため、現地工事着工に若干の遅れが出ていたが、詳細検討の結果、当初計画に対し大きな変更はない。

図 1. リン含有PCB油前処理設備工事の進捗状況及び今後の見通し



(2)試運転

各種試験等により安全性及び性能確認を行った後、模擬液による試運転を行う。リン含有 PCB 油(実液)による試運転は 2020 年 1 月以降になる見込みである。

(3)処理

試運転終了後、リン含有 PCB 油の処理を開始し、2021 年度中の処理完了を目指す。

4. 廃アルカリ液の低濃度無害化処理認定施設への搬出

リン除去前処理に伴って発生する廃アルカリ液は、低濃度無害化処理認定施設で委託処理を行う。

廃アルカリ液を搬出するための運搬容器は 2 m³のコンテナ(図 2)により行い、トラック 1 台に 4 コンテナを積載して低濃度無害化処理認定施設へ払い出す計画である。

月間払い出し量は最大で 33 t 程度、トラック台数 4 台程度である。



図 2. 廃アルカリ液運搬用 2m³コンテナ
(外形概略寸法:幅 1,510 mm×奥行 1,510 mm×高さ 1,830 mm)